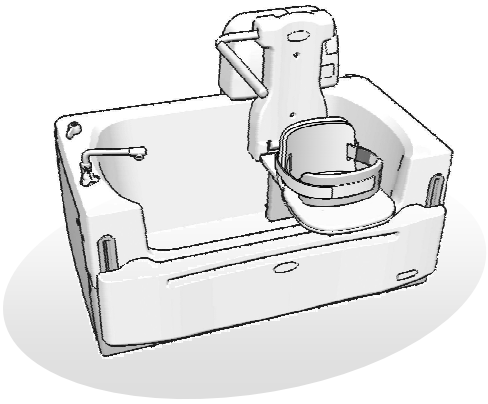
SAKAImed

取扱説明書

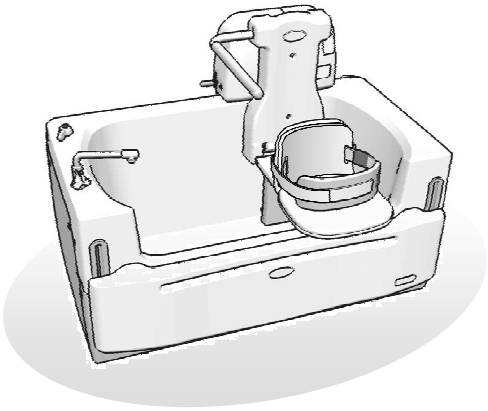
Pansy i

パーソナルケア浴槽 パンジーi（アイ）

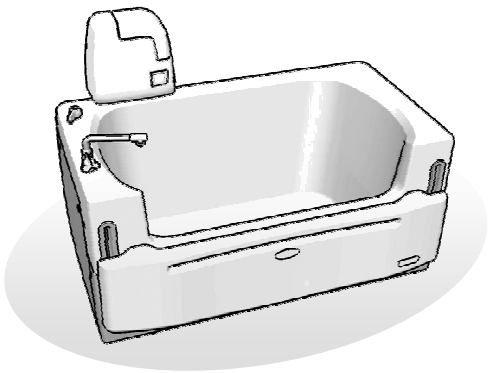
PNS-320AC
PNS-310 AC
PNS-300 AC



PNS-320AC



PNS-310AC



PNS-300AC

✱このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。

✱正しく安全にお使いいただくため、ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。

✱「取扱説明書」は、
- ○１部を現場用として、常に参照できる状態を保ってください
- ○１部を保存用として、大切に保管してください

01-183④NZ

用途

本製品は、介助を必要とする入浴者を快適かつ容易に入浴させることのできる入浴装置です。

特長

✹介助性が良い

浴槽側面を開閉式扉にし、かつシート上面のスライドシートにより浴槽へのトランスファーを容易にしました。

✹介助力の省力化

扉シール、扉ロック解除の自動化により、介助力の省力化を図りました。

✹清潔で衛生的な入浴方法

一回の入浴毎に湯を全量又は、半量入れ換わる清潔で衛生的な入浴を行なうことができます。

✹安全機構を装備

電源スイッチを設け、誤動作やいたずらによる事故の発生を防止しています。又、下降時、シートの下に足や物が挟まった場合に下降が停止する安全機構を備えています。

✹設置が容易

据え置き浴槽の為、浴室の掘込み工事の必要もなく、設置が容易です。

✹入浴者の身体機能レベルに合わせた手厚い介助を実現

多彩なオプションの組合せにより、入浴者の身体機能レベルに合わせた介助が可能です。

もくじ

安全上のご注意 …… 4

各部の名称　PNS-320AC …… 8

各部の名称　PNS-310AC …… 9

各部の名称　PNS-300AC …… 10

ご使用になる前に …… 12

- 本製品による入浴のできない方 …… 12
- 入浴剤について …… 12

操作方法（各部） …… 13

- 電源 …… 13
- 停電時の操作 …… 13
- 昇降ユニットの横行操作（PNS-310 のみ） …… 15
- 手すりの操作 …… 16
- 手すりの付け替え、脱着 …… 17
- 給湯操作 …… 18
- 排水操作 …… 18
- 扉の開閉 …… 19
- シートの昇降操作 …… 20
- スライドシートの操作 …… 21
- 安全ベルトの装着 …… 21

入出浴手順　**PNS-320AC、PNS-310AC** の場合 …… 22

入出浴手順　**PNS-300AC** の場合 …… 27

入浴終了後の操作 …… 30

各種オプション品の取扱 …… 31

- 浴槽縁手すり（PN-220） …… 31
- トランスファー手すり（PN-230） …… 32
- 移乗台（PN-250） …… 32

日常のお手入れ …… 33

- 清掃 …… 33
- スライドシートの跳ね上げ …… 33
- 座面マットの脱着 …… 34
- 背当てマットの脱着 …… 34
- 安全ベルトの脱着 …… 34
- 薬液について …… 35

このようなときには …… 36

機器の保守・点検について …… 37

保証とアフターサービス …… 38

仕 様 …… 39

安全上のご注意

本製品を安全に正しくご使用していただくために、
各注意事項をよくお読みのうえ、
必ずお守りください。

表示の意味は次のようになっています。

⚠危険 ･･･ 取り扱いを誤ると、
死亡または重傷を負うことに至るもの

⚠警告 ･･･ 取り扱いを誤ると、
死亡または重傷を負う可能性が想定されるもの

⚠注意 ･･･ 取り扱いを誤ると、
傷害または物的損害の発生が想定されるもの

絵表示の意味

⃠禁　止：してはいけない「禁止」内容のものです。

❗強　制：必ず実行していただく「指示」内容のものです。

電源

⚠警告

⃠ **サービスマン以外は、電気の接続を行わないこと**
正しく接続しないと故障や事故の原因になります。

⚠注意

❗ **使用電圧は単相 100V±5%の範囲で使用すること**
範囲外の場合には機器の故障及び誤作動の原因になります。

入浴剤・薬液

⚠危険

次亜塩素酸ナトリウムは酸性の製品の近くに置いたり、一緒に用いない

人体に有害な塩素ガス等の発生の恐れがあります。万が一塩素ガスを吸込んだ場合は、直ちに医師の診察を受けてください。

⚠注意

当社指定外の薬液を使用しない

イオウ系の薬液等は浴槽の金属部や電気部品、ゴム部品等を腐食させます。ご使用になり装置が故障した場合は、保証期間内の製品でも、保証対象となりませんのでご注意ください。

入浴中に薬液の投入は行わない

入浴者に健康被害を及ぼす恐れがあります。

推奨濃度より濃い濃度で殺菌しない

機器の破損につながる恐れがあります。

薬液を取り扱うときは、容器に書かれている使用上の注意をよく読む

- 各注意事項をお守りください。
- 周囲に薬液がこぼれた場合は水でよく洗い流してください。スライドシートや床の変色や劣化、フレーム等の錆の原因となります。

薬液を使用したときは、入浴作業終了後、きれいに洗い流す

残っていると、変色や錆の原因となります。

着色性及びイオウ成分の入った入浴剤は、使用しない

ご使用になると、よごれを落としにくくなったり、金属の腐食等を起こす恐れがあります。

入浴準備

⚠注意

昇降ユニットは、ロックされる位置までスライドさせること

左右にスライドさせるときは、ロックされる位置までスライドさせること。

昇降ユニットの横行操作時は、入浴者を乗せないこと

入浴者を乗せたまま横行操作をすると、けが及び破損をする恐れがあります。

昇降ユニットの横行操作は、シートが上限位置の状態で、ゆっくりと行うこと

上限位置以外の状態で横行操作を行ったり、早く行うと浴槽が破損する恐れがあります。

昇降ユニットの横行操作後は、シートの位置に応じて手すりを付け替えること

手すりを付け替えずにシートを下降させると、手すりが浴槽に当たり破損する恐れがあります。

⚠警告

入浴前に浴槽内の湯温に注意

入浴前に浴槽内の湯温が適温であることを手で確認してください。確認しないで入浴させると入浴者にやけどを負わせる恐れがあります。

給湯や差し湯をするときに、必ず手で温度を確認

温度が高いとやけどをする恐れがあります。特に浴槽内に入浴者がいる状態で差し湯をする場合には、十分注意してください。

スライドシートへ移乗させるときは、座面マットの中央にお尻が乗るようにゆっくり移乗させること

スライドシートの端に極端に荷重が掛かった状態だと、スムーズにスライドさせられないことがあります。

スライドシートの浴槽内へのスライドはゆっくり

入浴者を浴槽内にスライドさせるときは入浴者の体を支えてゆっくりスライドさせてください。急いでスライドさせると転倒の恐れがあります。

スライドシート使用時は安全ベルトを使用

スライドシートを使用するときは、安全ベルトを使用してください。

扉の下降時に指先の挟み込みに注意

扉の下降時、扉と浴槽の間に指先が挟み込まれると、けがをする恐れがあります。

シートの下降時または上昇時の挟み込みに注意

- スライドシートを下降させるときにスライドシートと浴槽底面の間に入浴者の手足が挟み込まれると、けがをする恐れがあります。
- スライドシートを上昇させるときは、バルブ付き給湯カランなどに入浴者の肩等がぶつかり、けがをする恐れがあります。
- スライドシートを上昇させるときは、入浴者の指先等の安全を確認してから、シートを上昇させてください

入浴中の入浴者の状態に注意

水没等がないように、常に看視してください。

扉シールを解除する前に必ず浴槽内の湯を扉開閉時水位まで排水する

扉開閉水位より湯があるときに扉シールを開けると水圧で、多量の湯が一度に放出され危険です。また、ユニットバスや狭い浴室の場合、脱衣室に一度に放出された排水が進入する恐れがあります。

⚠注意

リモコンの取り扱いに注意

床に落としたり足で踏んだりすると故障の原因となります。

扉を上昇させるときはスライドシートを浴槽内へ最後までスライドさせる

最後までスライドさせないで扉を上昇させると、破損する恐れがあります。

ストッパーマットを使用しないときは、浴槽内に落下しない場所に置く

入浴操作中に落下すると、挟み込み等を起こし事故や故障の原因になります。

⚠注意

スライドシートの端に荷重をかけない
スライドシートの端に荷重をかけてスライドさせると、身体の一部を挟み込んでケガをしたり、スライドシートやレールフレームが破損する恐れがあります。

清掃時にリモコン及び昇降ユニット上部のカバーにシャワー等で水をかけない
水がかかると電気系統の故障の原因になります。

スライドシートを跳ね上げるときは、レールフレームを持って跳ね上げる
スライドシートや台板を持って跳ね上げると破損する恐れがあります。

シートは最後まで跳ね上げてシート固定ベルトで固定する
固定しないとシートが倒れてけがをする恐れがあります。

スライドシートを上限まで上昇させ、バックレスト（腰当）を扉側に回転させてからスライドシートの跳ね上げを行う
定位置以外でスライドシートを跳ね上げても固定できません。

入浴しないときは、扉シールを作動させない
長時間シールをしたまま放置すると、シール性能が低下して水漏れする恐れがあります。

使用後は、必ず浴槽内の湯を排水する
水垢などが浴槽にこびりつき、汚れが落ちにくくなるので、必ず浴槽内のお湯を排水し、清掃してください。

使用後は、必ず換気を行い室内の湿度を下げる
湿気による錆やかびなどの発生を抑えます。

安全ベルトの損傷に注意
ほころび始めたり、切れかかってきたりしたら、新しいベルトと交換してください。安全ベルトの身体固定力が低下すると、思わぬ事故の原因となります。また、ほころびた部分で皮膚が傷つく場合がありますので注意してください。

マットの損傷に注意
古くなって破れたり、差込凸部が損傷し固定することができなくなったら、新しいものと交換してください。

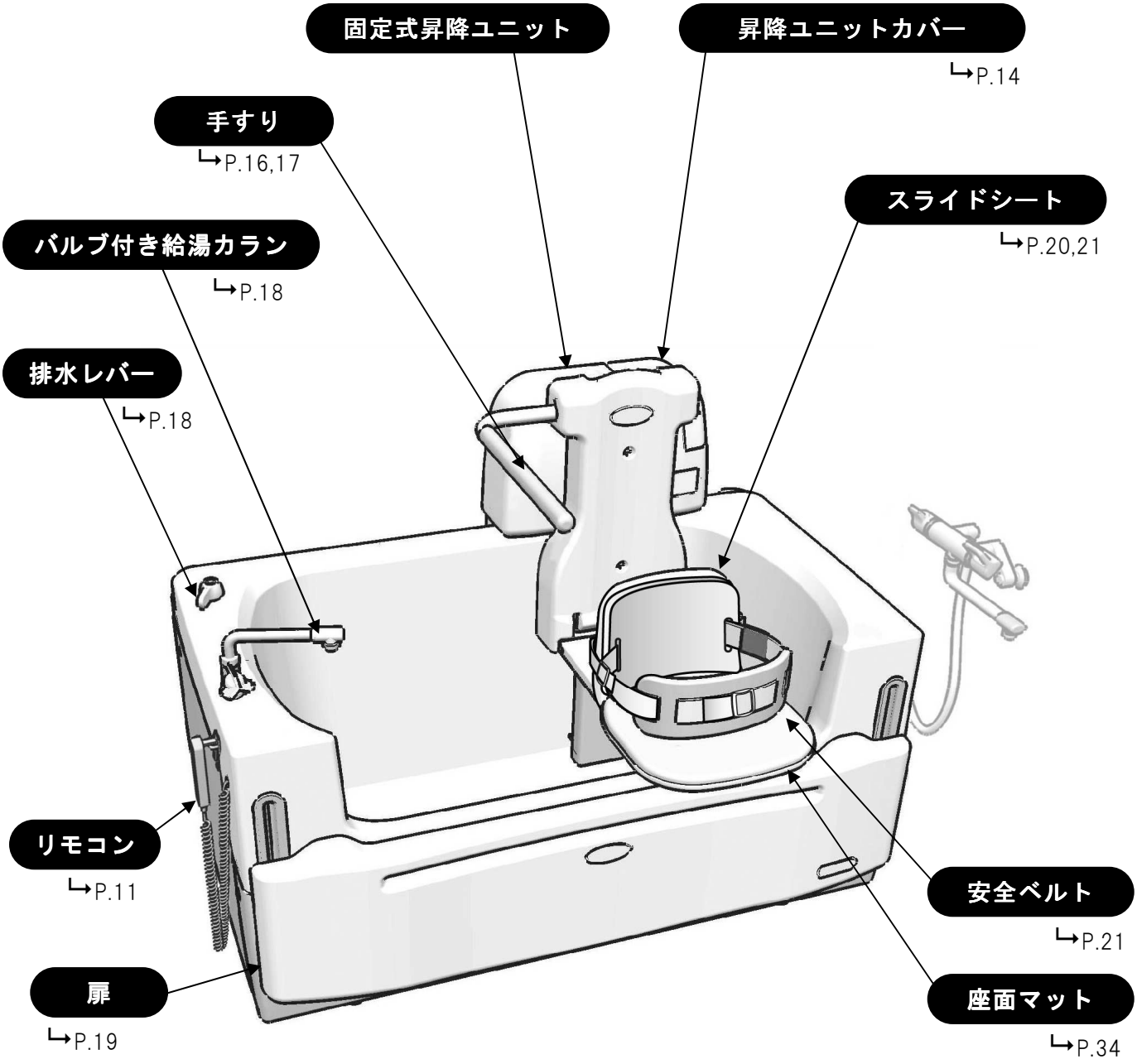
昇降ユニットカバーに荷重をかけない
昇降ユニットカバーが破損し、けがをする恐れがあります

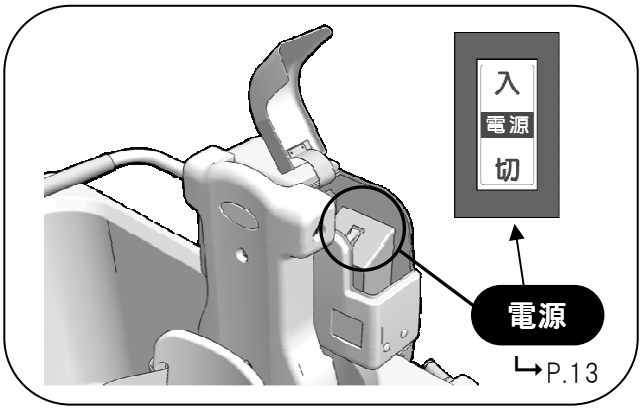
この製品は、一部に天然ゴムを使用しています
かゆみ、発赤、蕁麻疹、むくみ、発熱、呼吸困難、喘息様症状、血圧低下、ショックなどのアレルギー性症状をまれに起こすことがあります。このような症状を起こした場合には、直ちに使用を中止し、医師に相談し、適切な措置を施してください。

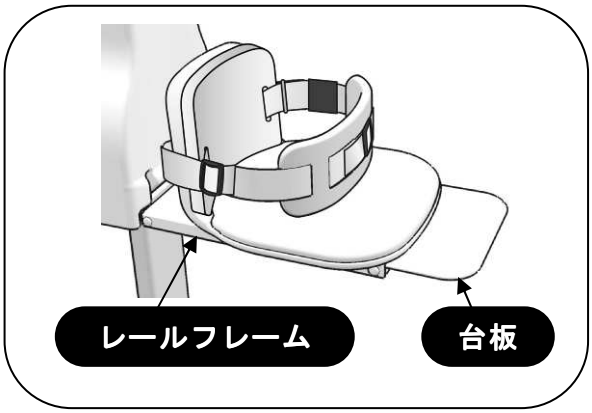
心臓用ペースメーカーを使用している方を入浴させるときは、医師に相談する
本製品が、ペースメーカーに影響を与えることがあります。

各部の名称 PNS-320AC

昇降ユニットが固定式のタイプです。

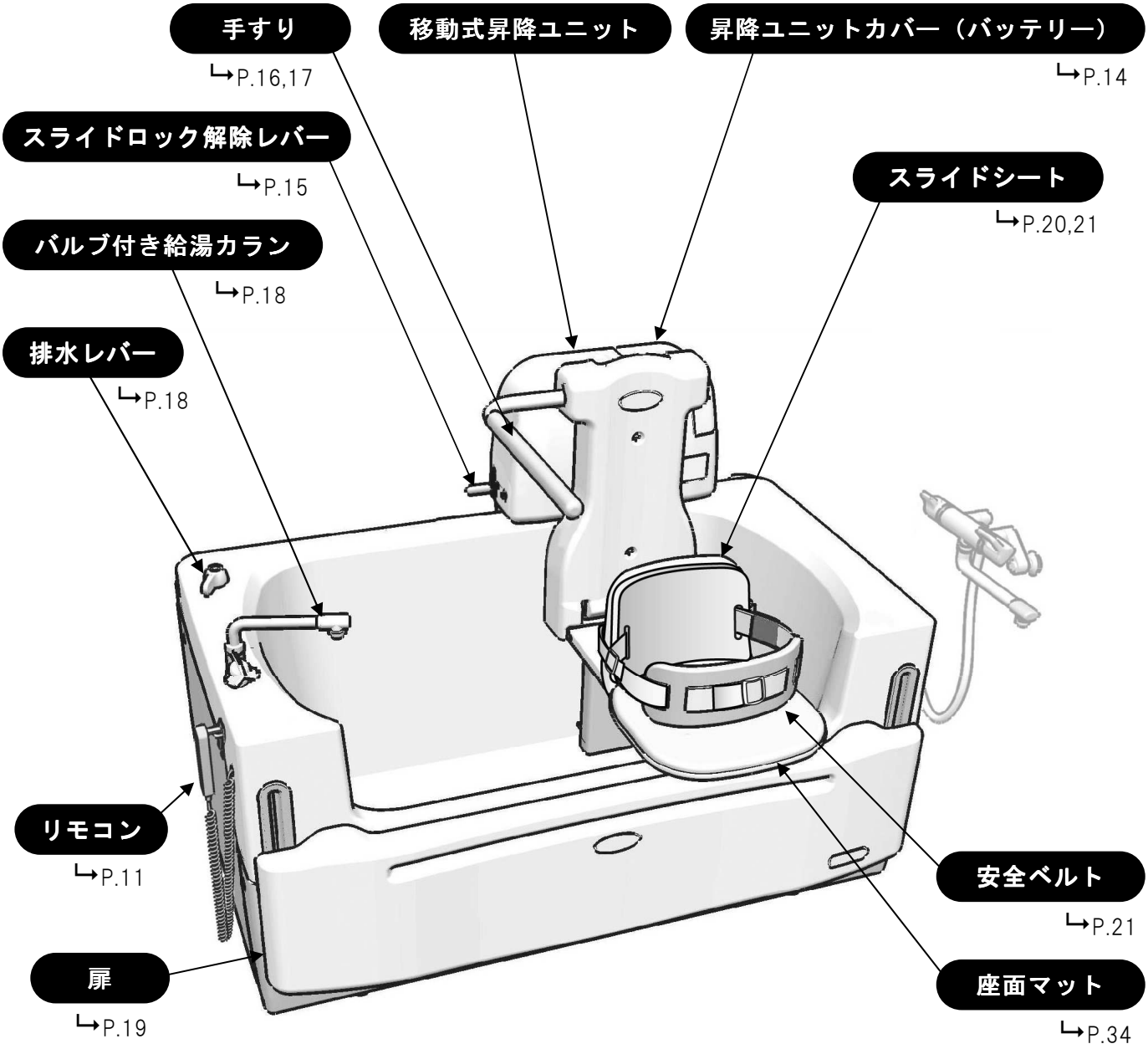


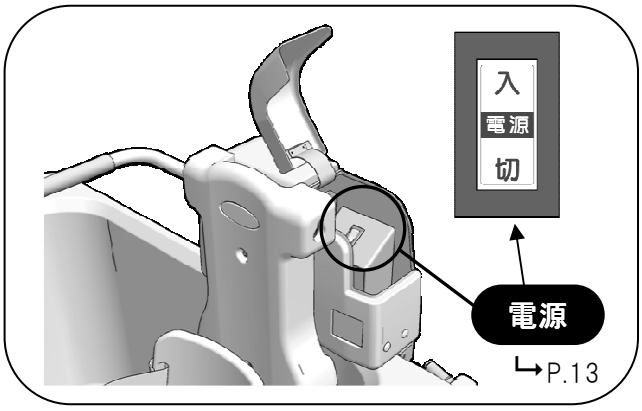


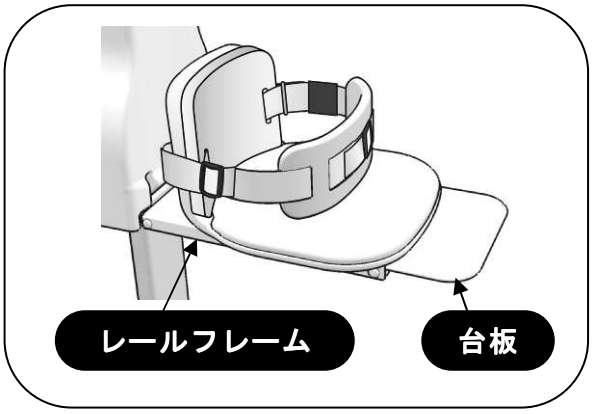


各部の名称 PNS-310AC

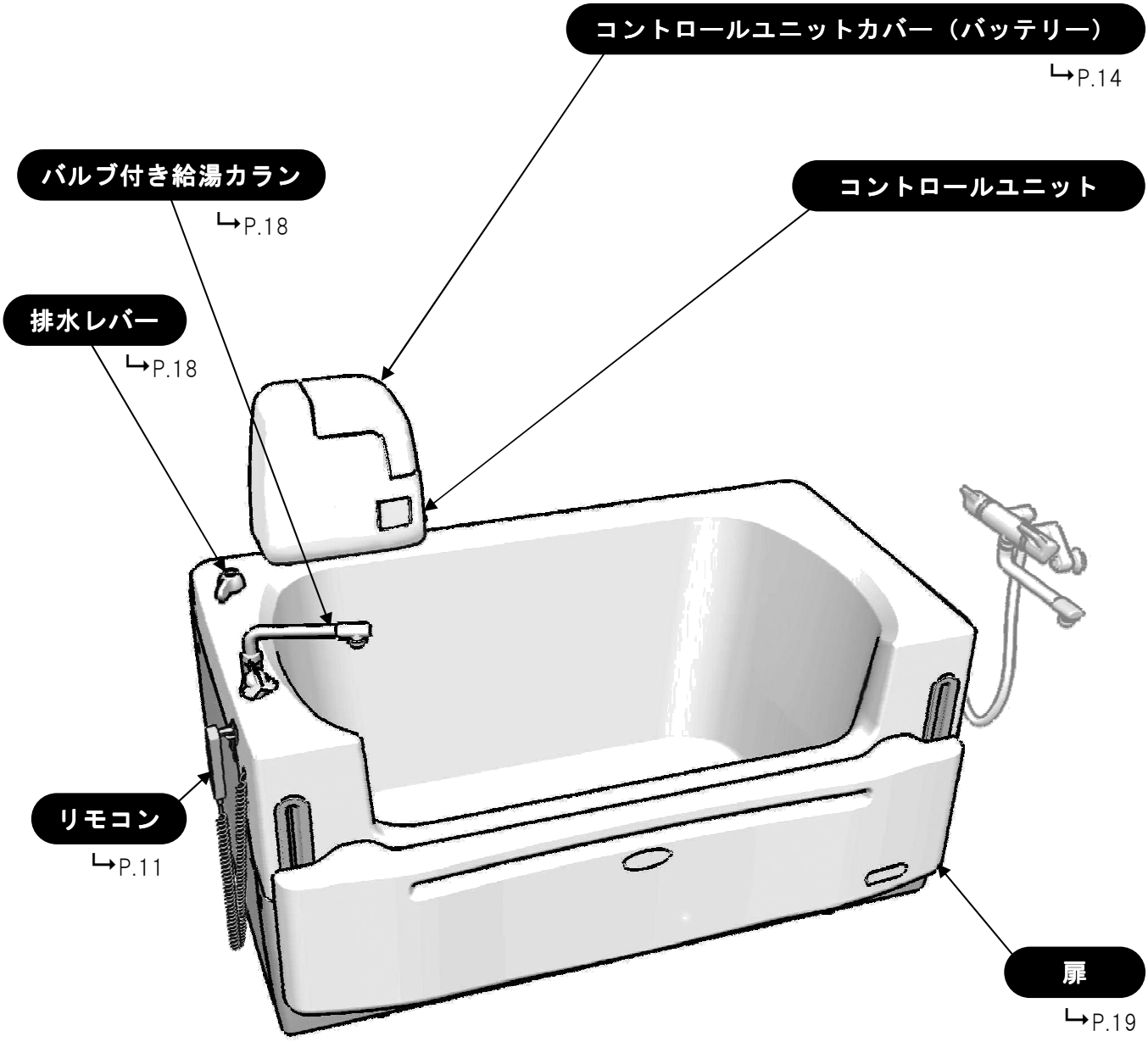
昇降ユニットが左右に移動できるタイプです。

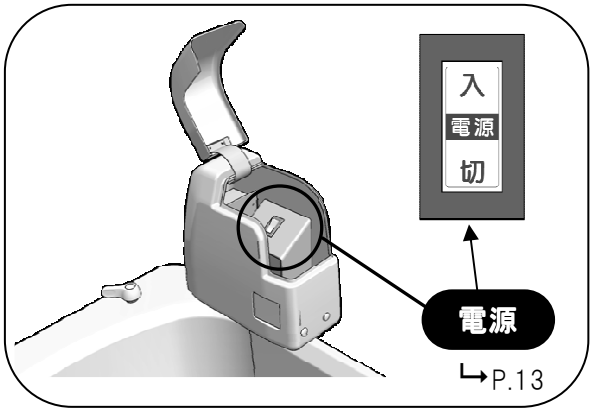






各部の名称 PNS-300AC

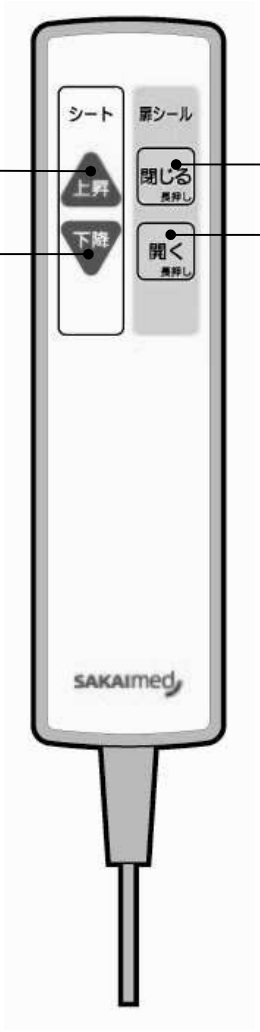


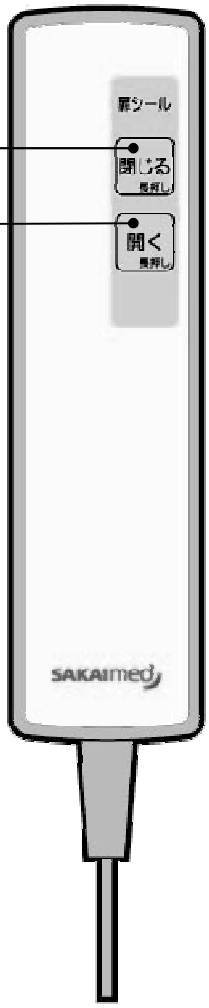


✸リモコン

PNS-320AC
PNS-310AC

PNS-300AC





シート 上昇ボタン
ボタンを押している間、
シートが上昇します。
↳P.20

シート 下降ボタン
ボタンを押している間、
シートが下降します。
↳P.20

扉シール閉じるボタン
扉のシールが作動
します。
↳P.19

扉シール開くボタン
扉のシールを解除
します。
↳P.19

ご使用になる前に

ご使用前に本製品についてP.37 **始業点検項目**にもとづき、始業点検を実施してください。またこれ以外でも部品が破損しているなど、日頃お使いになられていたときとは違う異常を感じましたら、本製品を使用せずに、電源を切って最寄りの営業所にご連絡ください。

破損、異常を感じたままのご使用は、危険ですから絶対におやめください。

新品時は、FRP 特有のにおいがすることがありますが、使用上問題はありません。十分換気を行ってご使用ください。においは使っているうちになくなります。

本製品による入浴のできない方

椅子に座った状態を独力で維持できない方や、椅子の上で前方や左右に極端に寄りかかったり、片寄って座った状態となる方は、本製品による入浴はできません。

入浴前に入浴者の呼吸や脈拍、血圧、体温などに変化があった場合は、入浴を中止してください。

入浴剤について

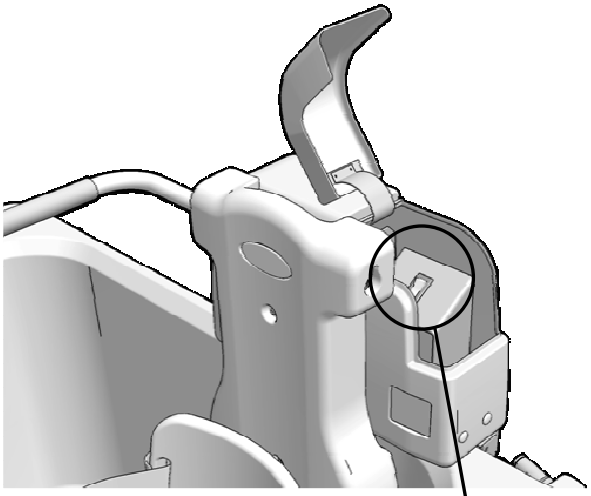
入浴剤は、入浴剤の使用上の注意をよく読んで、浴槽（FRP）やシール材、排水配管等に悪影響を及ぼさない製品を使用してください。ただし、粉末状の入浴剤は、溶け残ったものが配管内に付着すると故障の原因になりますので、使用しないでください。

操作方法(各部)

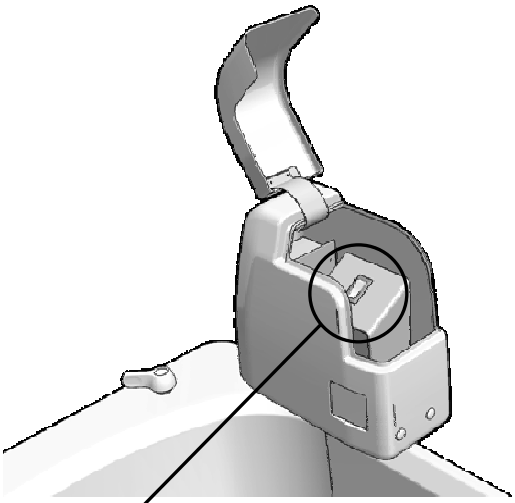
電源

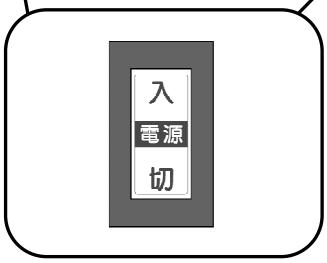
本製品は設置時に、配電盤内にある専用安全ブレーカーに接続されています。
使用前に専用安全ブレーカーに異常がないことを確認してください。
確認後、昇降ユニットのカバー/コントロールユニットのカバーを開け、電源スイッチを入れてください。

PNS-320AC
PNS-310AC



PNS-300AC





⚠注意　・配電盤内にある専用安全ブレーカーを切る
使用後は、配電盤内にある専用安全ブレーカーを必ず切ってください。

・入浴中は、電源を切らない
緊急な出浴が必要なときのために、入浴中は電源を「入」にしてください。

停電時の操作

1　入浴中、停電または故障により装置が動かなくなった場合、入浴者を抱きかかえ、浴槽の外に出します。

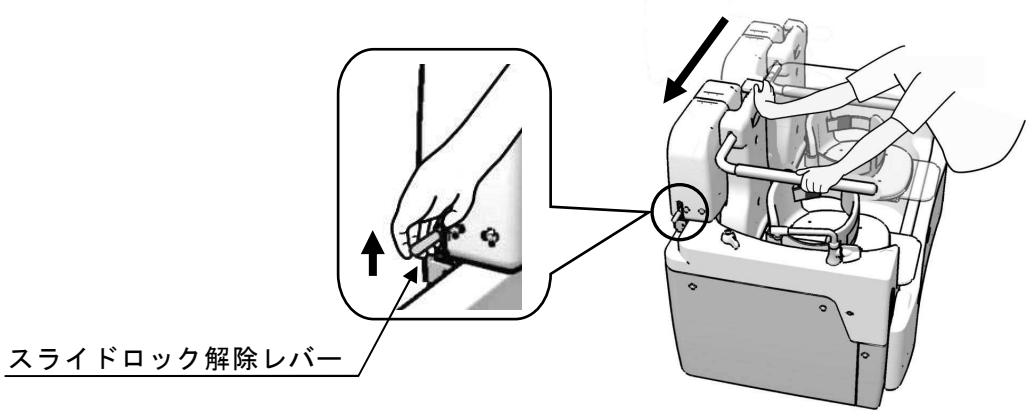
2　電源復帰後、上昇スイッチを押して、シートを上限まで上昇させます。

3　扉シール開くスイッチを押して、扉のシールとロックを解除し、扉を下げます。

昇降ユニットの横行操作（PNS-310 のみ）

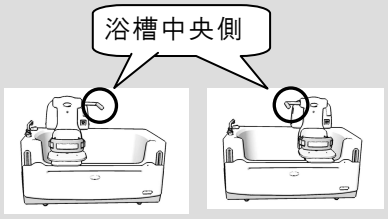
入浴者の身体状況に合わせて移動式昇降ユニットを右左どちらかの位置に決めます。

1 リモコンの上昇ボタンを押し、シートを上限まで上昇させます。
2 スライドロック解除レバーを上げながら移動式昇降ユニットを横に押します。
3 動き出したらレバーから手を離し、そのまま動かすと所定の位置で固定されます。
（シートの位置は、4 か所から選択できます。）
4 昇降ユニットのロックを確認します。
5 P17 の手すりの付け替え、脱着操作の手順に従って、手すりの位置を付け替えます。

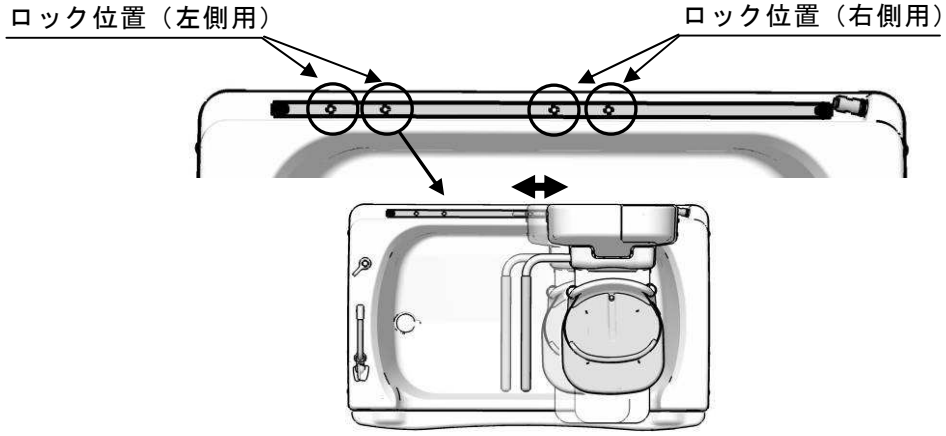


⚠注意　横行操作は、シートが上限位置の状態で、ゆっくりと行うこと
上限位置以外の状態で横行操作を行ったり、早く行うと浴槽が破損する恐れがあります。

⚠注意　横行操作後は、シートの位置に応じて手すりの位置を付け替えること
手すりの位置を変えずにシートを下降させると、手すりが浴槽に当たり破損する恐れがあります。

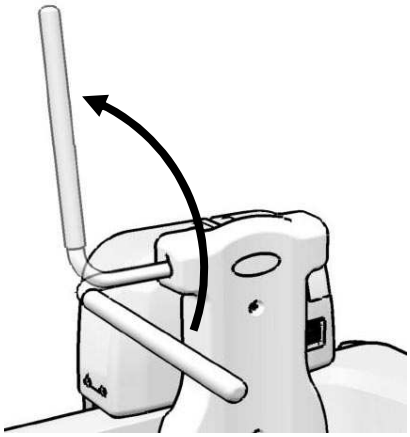


移動式昇降ユニットは、入浴者の身長に合わせ、シートの位置を前後 2 か所（左右合計 4 か所）から選択できます。



手すりの操作

手すりを使用しないときは跳ね上げることができます。跳ね上げる際は、ゆっくり最後まで跳ね上げてください。手すりを元に戻す際は、そのままゆっくり手すりを下げてください。



参考 清掃等で手すりがじゃまになる場合は、手すりを取り外すことができます。
P17 の手すりの付け替え、脱着方法に沿って、脱着作業をおこなってください。

⚠注意　手すりの倒れこみに注意

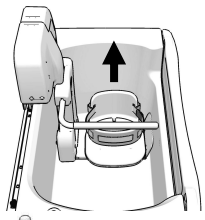
手すりは跳ね上げ位置でロックされません。使用しない場合は、P.17 の手すりの付け替え、脱着方法に沿って取り外してください。

手すりの付け替え、脱着

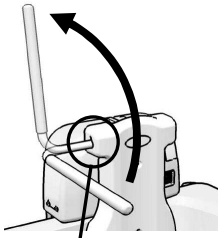
手すりは昇降ユニットの位置に合せて、必ず付け替えてください。
また清掃等で手すりがじゃまになる場合は、手すりを取り外すこともできます。

✹ 手すりの取り外し方法

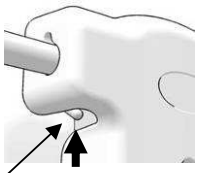
① リモコンの上昇ボタンを押し、シートを上限まで上昇させます。



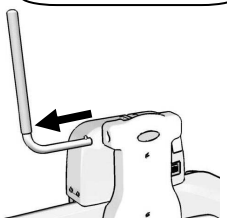
② 手すりを跳ね上げます。



③ 手すりを跳ね上げた状態で、手すり脱着レバーを押します。

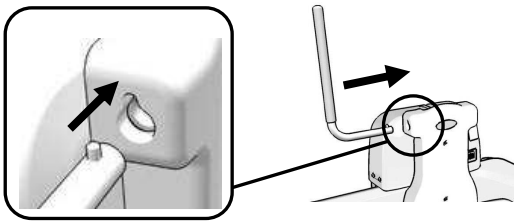


④ 手すり脱着レバーを押したまま手すりを引き出します。

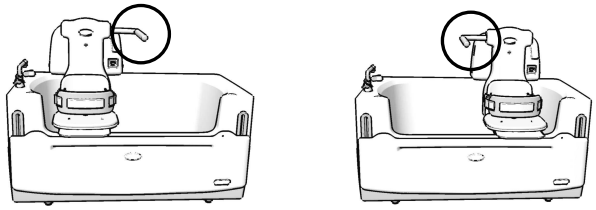


✹ 手すりの取り付け方法

差し込み穴の形状に合わせて、手すりがロックするまで差し込みます。



※ 手すりは浴槽の中央側に向けて取り付けてください。



⚠注意　横行操作後は、シートの位置に応じて手すりを付け替えること

手すりを付け替えずにシートを下降させると、手すりが浴槽に当たり破損する恐れがあります。

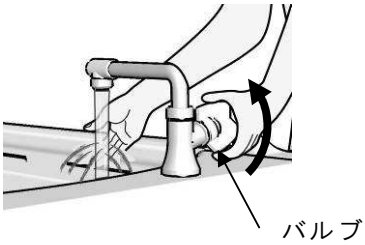
給湯操作

✹ バルブ付給湯カランから給湯

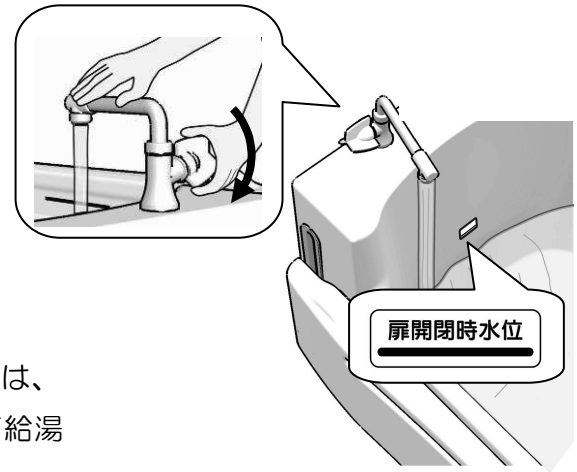
1 排水レバーを「閉じる」位置に回し、排水栓を閉じます。

2 浴室内の混合栓、またはサーモ付ミキシングで温度を調節し、バルブを開きます。
（シャワー水栓の場合は切り替えをパンジーi接続側に切り替えます。）

3 バルブ付給湯カランのバルブを開きお湯を出します。



> ⚠**警告** **給湯や差し湯をするときに、必ず手で温度を確認**
> 温度が高いとやけどをする恐れがあります。



4 扉開閉水位までお湯を貯めたらバルブを閉じて給湯を停止させます。

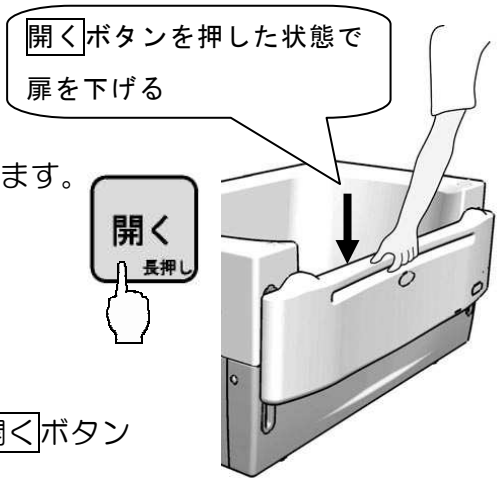
※浴室内の混合栓等から直接給湯する場合は、浴室内の混合栓の取扱説明書に基づいて給湯操作してください。

排水操作

1 排水レバーを「開ける」位置に回し、排水します。

参考 扉開閉水位まで水位が下がったら、排水レバーを「閉じる」位置に回すことで、湯量の消費を節約することができます。

扉の開閉



開く（シールされた扉を下げるまでの手順）

● 扉シールの解除、扉の下降

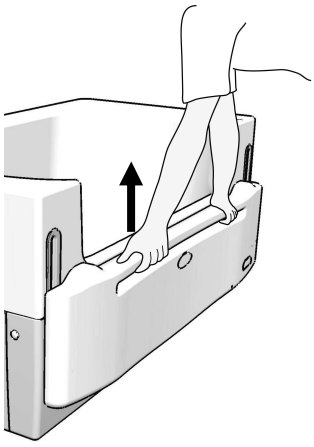
1 リモコンの扉シール開くボタンを 2～3 秒押し続けます。
（扉シールとロックが解除されます。）

2 開くボタンを押したまま、扉を下限まで下げます。

参考 扉を下降させるときに、扉が上限位置のまま、開くボタンから指を離すと、扉は再度ロックされます。
開くボタンを押しても、扉を下げることが出来ない場合には、一度扉を上方向に引上げてから **2** の操作をしてください。

> **⚠警告 ・扉の下降時に指先の挟み込みに注意**
> 扉の下降時に、扉と浴槽の間に指先が挟み込まれると、けがをする恐れがあります。
>
> **・扉シールを解除する前に必ず浴槽内の湯を扉開閉時水位まで排水する**
> 扉開閉水位より湯があると多量の湯が一度に放出され、ユニットバスや狭い浴室の場合、脱衣室に排水が進入する恐れがあります。

閉じる（下がっている扉を上げて、シールするまでの手順）



● 扉の上昇

扉を上限まで持ち上げます。上限で扉はロックされます。

> **⚠注意 扉を上昇させるときはスライドシートを浴槽内へ最後までスライドさせる**

● 扉をシールする

1 扉が上限でロックしたことを確認
2 リモコンの扉シール閉じるボタンを長押しして、扉をシールします。
3 約 4～5 秒でシールが完了します。
4 ボタンから手を離します。

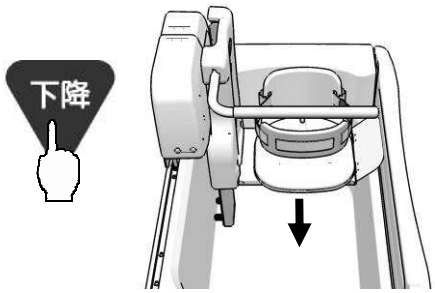
シートの昇降操作

● シートの下降

リモコンの下降ボタンを押している間、シートが下降します。

○下降中に下降ボタンから手を離すと、その高さで停止します。

○下降ボタンを押し続けると下限で自動停止します。



下降させるときは…以下のことを確認

- シートの下に何もないこと。
- 扉が上限でロックおよびシールされていること。
- スライドシートが浴槽内へ最後までスライドされていること。
- シートが手すりに対して正面を向いていること。

※扉が開いた状態では、シートは下降しません。
シートを下降させるときは、扉を上限でロックおよびシールしてください。

> **⚠警告　シートの下降時の挟み込みに注意**
> シートを下降させるときにシートと浴槽底面の間に入浴者の手足が挟み込まれると、けがをする恐れがあります。

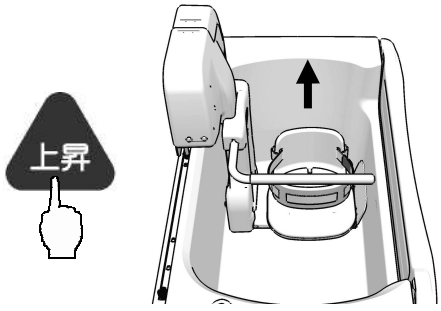
● シートの上昇

リモコンの上昇ボタンを押している間、シートが上昇します。

○上昇中に上昇ボタンから手を離すと、その高さで停止します。

○上昇ボタンを押し続けると上限で自動停止します。

○移乗時には、必ず上限で自動停止するまでシートを上昇させてください。

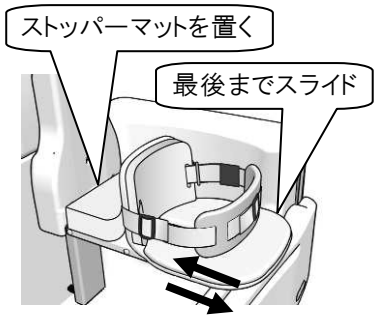


参考　シートの上昇は、扉が開いた状態でも操作が可能です。

> **⚠警告　シートの上昇時の挟み込みに注意**
> ・ シートを上昇させるときは入浴者の身体が混合栓やバルブ付給湯カランにぶつからないように注意してください。
> ・ 入浴者の指先の安全を確認してから、シートを上昇させてください

スライドシートの操作

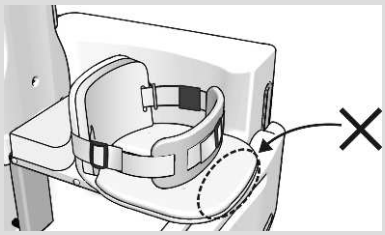
スライドシートは、回転とスライドが可能です。



移乗時…スライドシートを扉側へ最後までスライドさせる。
（付属のストッパーマットを背もたれの裏側に置くと、スライドシートの回転とスライドを止められます。）

入浴時…スライドシートを浴槽内に最後までスライドさせる。
（ストッパーマットを使用した場合は、ストッパーマットを外してください。）

⚠警告　・スライドシートへ移乗させるときは、座面マットの中央にお尻が乗るようにゆっくりと移乗させること



スライドシートの端に極端に荷重が掛かった状態だと、スムーズにスライドさせられないことがあります。

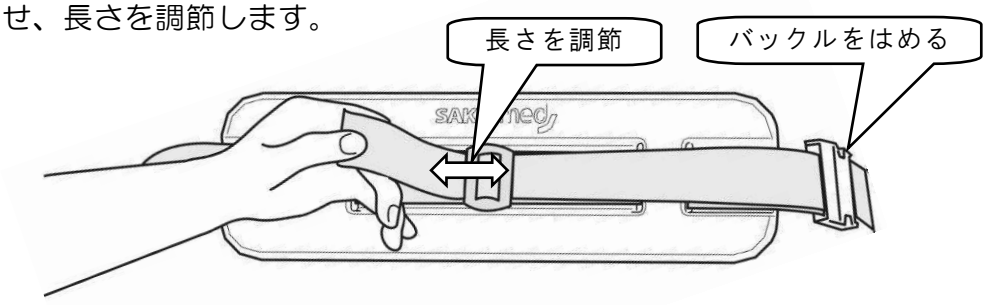
・スライドシートの浴槽内へのスライドはゆっくり

入浴者を浴槽内にスライドさせるときは入浴者の体を支えてゆっくりスライドさせてください。急いでスライドさせると転倒の恐れがあります。

⚠注意　ストッパーマットを使用しないときは、浴槽内に落下しない場所に置く

安全ベルトの装着

スライドシートへ入浴者を移乗させたらパッド付き安全ベルトのバックルをはめ、入浴者に合わせ、長さを調節します。



⚠警告　スライドシート使用時は、安全ベルトを使用

スライドシートを使用するときは、安全ベルトを使用してください。

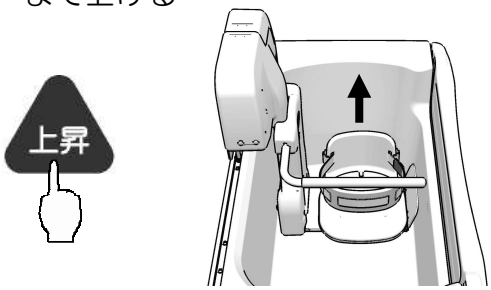
⚠注意　安全ベルトの損傷に注意

ほころび始めたり、切れかかってきたりしたら、新しいベルトと交換してください。安全ベルトの身体固定力が低下すると、思わぬ事故の原因となります。
また、ほころびた部分で皮膚が傷つく場合がありますので注意してください。

入出浴手順　PNS-320AC、PNS-310AC の場合

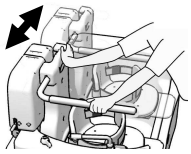
1 入浴準備

①シートが下がっている場合は、上限まで上げる



P.20 シートの昇降操作を参考

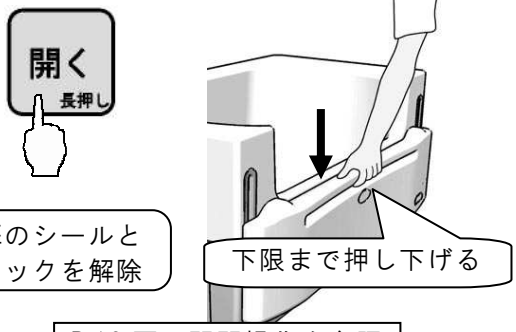
※PNS-310AC をご使用のお客様は、入浴者の状態に合わせて移動式昇降ユニットを右、左のどちらかの位置に移動します。



P15.昇降ユニットの横行操作を参照

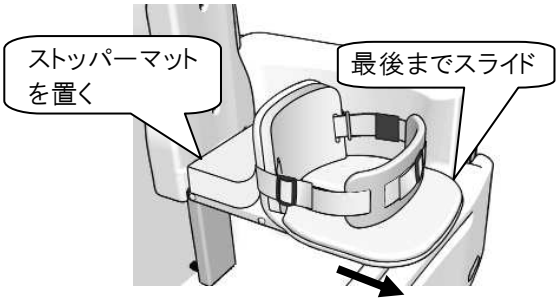
P17.手すりの付け替え、脱着を参照

②扉を開ける



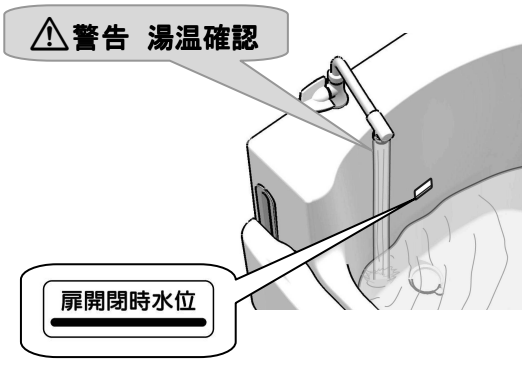
P.19 扉の開閉操作を参照

③スライドシートを扉側へ最後までスライドさせ、ストッパーマットを置き、バックルを外す



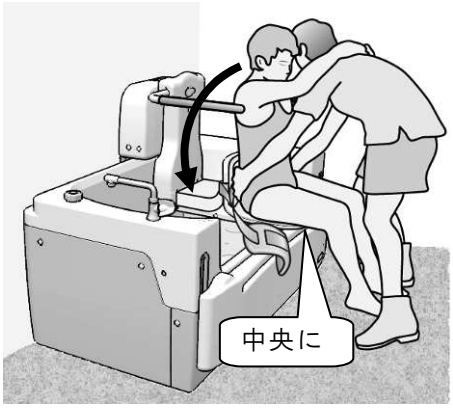
④排水レバーを閉じる

⑤扉開閉水位までお湯を貯める

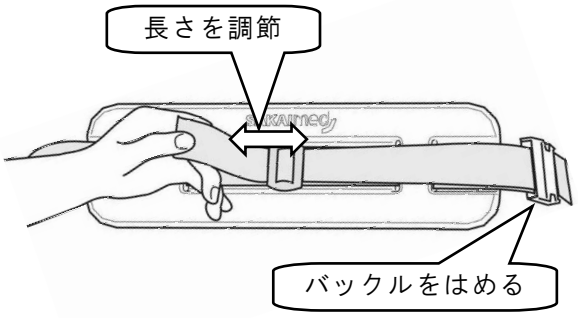


2 浴槽内への移乗

①入浴者をスライドシートに座らせる



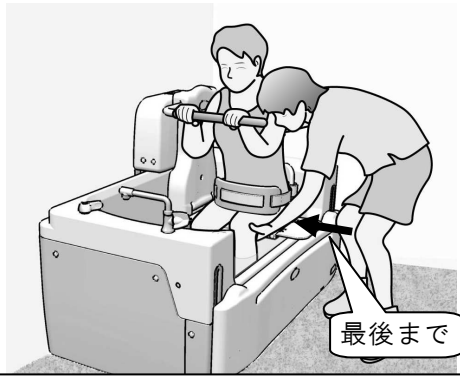
②安全ベルトを装着する



P.21 安全ベルトの装着方法を参考

③ストッパーマットを外し、スライドシートを少し浴槽側へずらし、足を抱えて浴槽に入れる

④スライドシートを浴槽内にスライドさせる



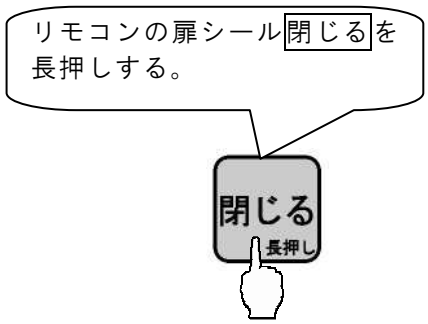
手すりに対して身体とシートが正面を向くように

3 入浴

①扉を閉じる

P.19 扉の開閉操作を参照

②扉シールを閉じる



P.19 扉の開閉操作を参照

③スライドシートを下降させる

P.20 シートの昇降操作を参照

④入浴者の体格に合わせた適量を給湯

4 出浴

①排水する

②スライドシートを上限まで上げる

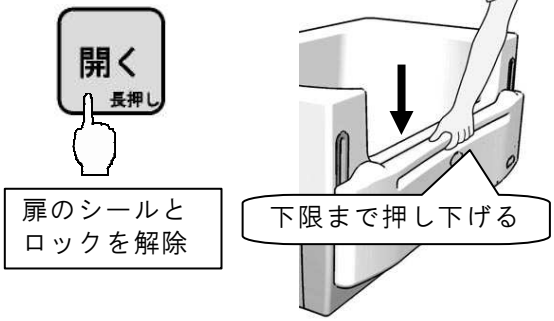
P.20 シートの昇降操作を参照

③排水を停止する

湯を全て入れ替えないときは扉開閉水位まで排水したらレバーを閉じる位置にします

④扉を開く

扉開閉水位まで排水されたことを確認



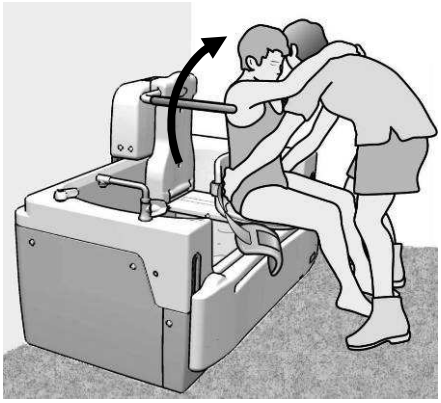
P.19 扉の開閉操作を参照

5 浴槽外への移動

①スライドシートを扉側へスライドさせる

②足を抱えて、下肢を浴槽の外に移動

③安全ベルトを外してスライドシートから立たせる



入出浴手順　PNS-300AC の場合

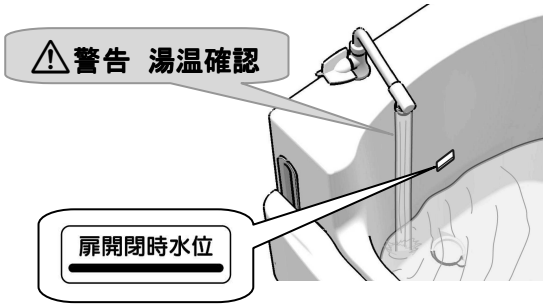
1 入浴準備

①扉を開ける

P.19 扉の開閉操作を参照

②排水レバーを閉じる

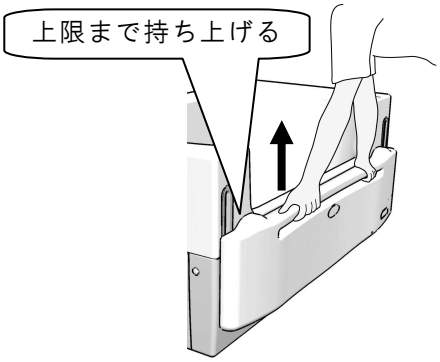
③扉開閉水位までお湯を貯める



2 浴槽内への移動、入浴

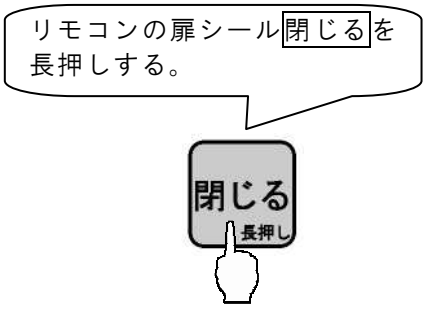
①入浴者が浴槽内に移動

②扉を閉じる



P.19 扉の開閉操作を参照

③扉シールを閉じる



P.19 扉の開閉操作を参照

④入浴者が座る。

⑤入浴者の体格に合わせた適量を給湯

3 出浴、浴槽外への移動

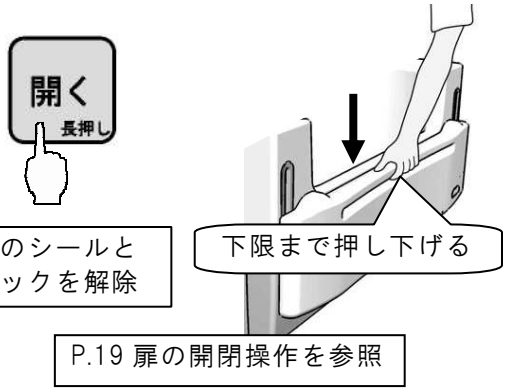
①排水する

湯を全て入れ替えないときは扉開閉水位まで排水後、レバーを閉じる位置にします

②入浴者が立ち上がる

③扉を開く

扉開閉水位まで排水されたことを確認



扉のシールとロックを解除

下限まで押し下げる

P.19 扉の開閉操作を参照

④入浴者が浴槽外へ移動

滑らないように注意

入浴終了後の操作

◎１日の入浴作業が終了したときは、以下の操作をしてください。

電源スイッチ

- 入浴終了後は必ず電源スイッチを「切」にしてください。

換気

- 浴室の窓を開けるなど十分に換気をします。浴室の湿度を下げて、湿気による錆やかびなどの発生を抑えます。

排水

- 排水レバーを「開ける」位置に回して、浴槽内の湯を全量排水してください。

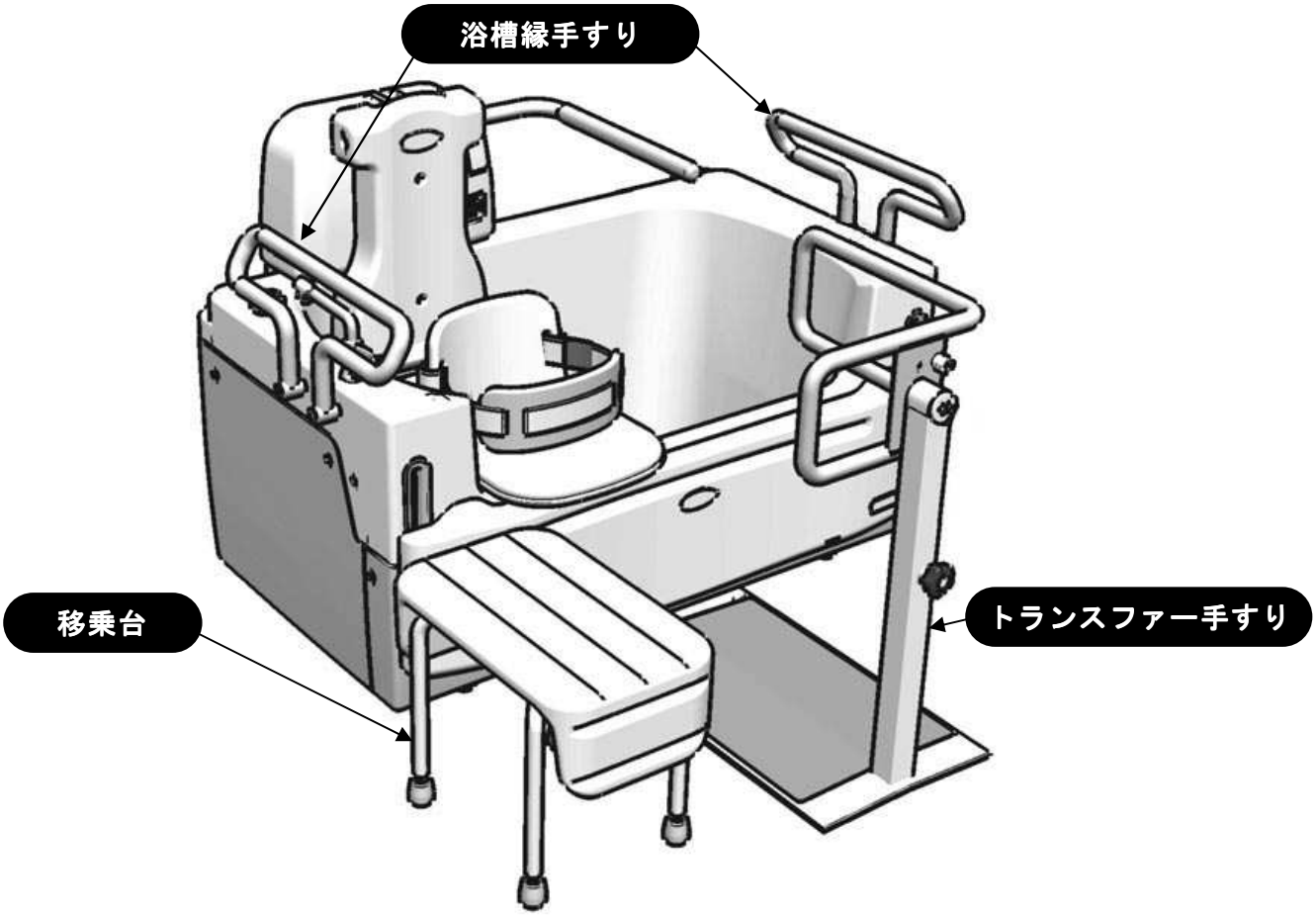
⚠**注意**　**・使用後は、必ず排水し、シールを開く**

シール部にエアーを入れたまま長時間放置すると、シールゴムが変形し、水漏れを起こす恐れがあります。
また、水垢などが浴槽にこびりつき、汚れが落ちにくくなります。

・長時間使用しないときは、電源を切る

長時間使用しないときは、電源を切ってください。

各種オプション品の取扱



浴槽縁手すり（PN-220）

浴槽へのトランスファーや、浴槽内へ移動する際、入浴者がつかむことで、移乗時の不安感が軽減できます。

※バルブ付給湯カランの給湯口を外側に回すと手すりと干渉する為、浴槽縁手すりを付ける場合は給湯口の回転範囲が制限されます。

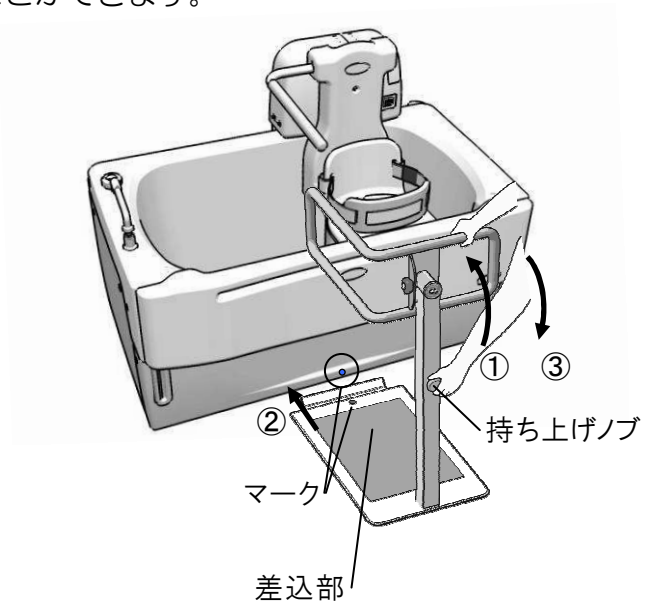
トランスファー手すり（PN-230）

浴槽外での立ち上がり動作時などに使用することで、入浴者の不安感を軽減することができます。手すり部を回転させることにより、入浴者のアプローチ方向に合せることができます。

また、入浴者の介助時に邪魔な場合は取り外すことができます。

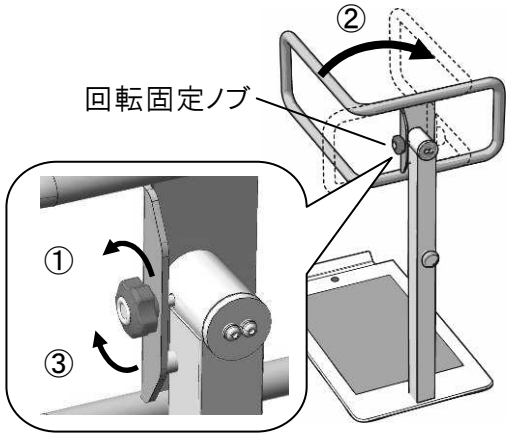
◆ 浴槽へのセット方法

① 持ち上げノブを握り、支柱側を持ち上げて、斜めに傾けます。（約 20°）
② ベース板と浴槽下部中央の青色マーク（●）を合わせて、ベース板の差込部を浴槽フレームに当るまで押し込みます。
③ 支柱側を床に降ろします。
④ 手すり本体を引っ張り、浴槽から外れないことを確認してください。
⑤ 取外す場合は、持上げノブを握り、支柱側を持ち上げて斜めに傾け（約 20°）、引き出します。



◆ 手すりの回転方法

① 手すりの回転固定ノブを反時計回りに回して、回転の固定を解除します。
② 入浴者のアプローチ方向に合せ、手すりを回転させます。
③ 位置が決まったら、手すりの回転固定ノブを時計回りに回して、回転を固定します。
④ 回転の固定が確実にされたことを確認してください。



⚠注意　トランスファー手すりを持ち運ぶときは、落とさないように注意
足の上に落とすことにより、けがをする恐れがあります。

移乗台（PN-250）

車椅子からのトランスファーに使用することで、安定した浴槽への乗り移りが可能になります。また、浴槽外での洗身作業などにも利用することができます。

座面高さの調節範囲は 425～480 ミリです。範囲内で使用してください。

⚠警告　けがの恐れあり
座面高さは、425～480 ミリの範囲で使用ください。転倒の恐れがあります。

日常のお手入れ

清掃

- １日の入浴作業終了後は、浴槽内をきれいに洗浄してください。
- 昇降ユニット／コントロールユニットのカバーの合わせ目やリモコンには水をかけないでください。
- リモコンや昇降ユニット／コントロールユニットのカバー部は雑巾等で軽く拭く程度にしてください。
- 浴室床面を洗う際には、浴槽内部に水が跳ね返らないように注意してください。
- 本浴槽は FRP 製です。スポンジ等の柔らかいもので洗浄してください。洗浄後は雑巾で軽く拭き取ってください。
- 洗剤は市販の浴槽用中性洗剤をご使用ください。
- 座面マット・背当てマット・安全ベルトは取り外して市販の中性洗剤で洗浄し、陰干ししてください。（脱着方法 P.34 を参照）

スライドシートの跳ね上げ

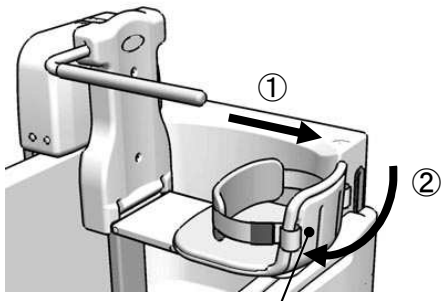
浴槽内の清掃時、スライドシートがじゃまになる場合は、
下記の手順でスライドシートを跳ね上げることができます。

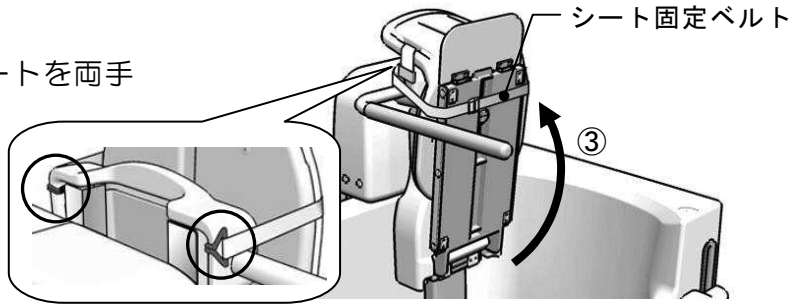
①スライドシートを扉側へ最後までスライドさせます。

②スライドシートを回転させ、バックレストを扉側へ向ける

③レールフレームまたはスライドシートを両手で持って、最後まで跳ね上げます。

④付属のシート固定ベルトを使用し、レールフレームを固定します。





⚠注意 **・スライドシートは上限まで上昇させ、バックレスト（腰当）を扉側に回転させてからスライドシートの跳ね上げを行う**

定位置以外でスライドシートを跳ね上げても固定できません。

・スライドシートを跳ね上げるときは、台板を持って跳ね上げない

台板を持って跳ね上げると破損する恐れがあります。

・シートは最後まで跳ね上げてシート固定ベルトで固定する

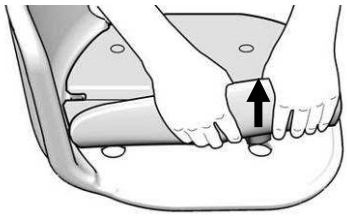
固定しないとシートが倒れてけがをする恐れがあります。

座面マットの脱着

座面マットのマット表面のふくらんでいる部分（下図中●印の部分）の裏側に差込凸部があります。その部分をマット表面から押してしっかり差し込んでください。

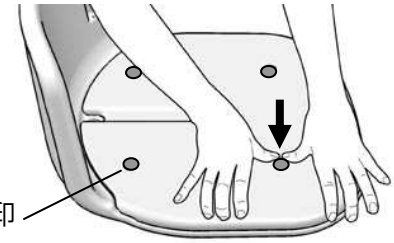
外す

マット裏の差込凸部の両側を両手で持つようにして、マット止めの穴から一つずつゆっくり外します。



着ける

マットをスライドシートに合わせ、マット止めの穴と差込凸部が合っていることを確認してから、マットの表面から差込凸部分を押して、穴にしっかり差し込みます。

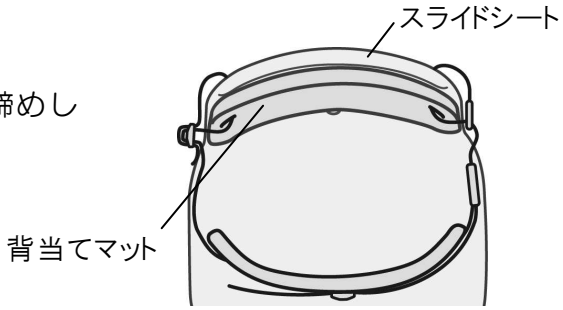


> **⚠注意　マットの損傷に注意**
> 古くなって破れたり、差込凸部が損傷し固定することができなくなったら、新しいものと交換してください。

背当てマットの脱着

安全ベルトをマットとシートの穴に通し共締めして取り付けます。

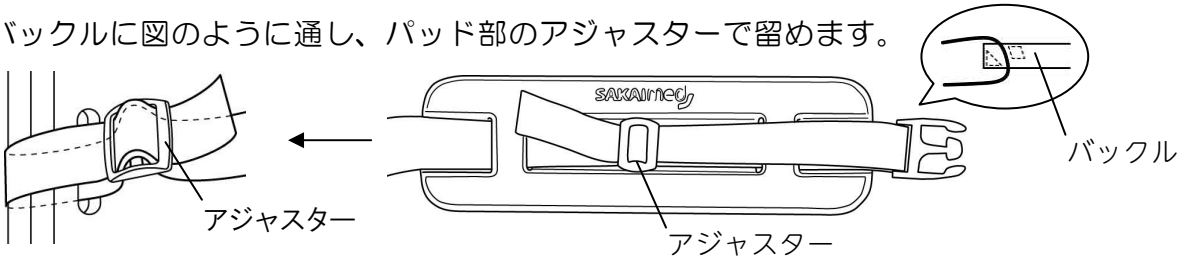
外すときはベルトと共に外してください。



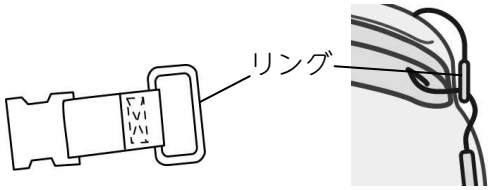
安全ベルトの脱着

ベルト（長）は、片側をシートの穴に通してアジャスターで留めます。もう一方はパッドに通し中間でアジャスターを通しておきます。

バックルに図のように通し、パッド部のアジャスターで留めます。



ベルト（短）は、リングをシートの穴に通して図のように取り付けます。



薬液について

浴槽を殺菌する場合は、次亜塩素酸ナトリウム（6%溶液）を使用してください。
他の薬液を使用したり、他の溶液と混ぜて使用したりしないでください。

> ⚠**危険　次亜塩素酸ナトリウムは酸性の製品の近くに置いたり、一緒に用いない**
> 人体に有害な塩素ガス等の発生の恐れがあります。

✹薬液殺菌方法

（塩素濃度　約 1ppm の殺菌）

浴槽とスライドシートの殺菌を行うものです。

◎毎日の入浴作業終了後に行うことをお奨めします。

	作　業　手　順	備　　考
1	スライドシートを浴槽内にセット	PNS-300 にはありません。
2	浴槽に水(湯)を入れる（追加する）	満水近くまで入れシートが湯に浸かる状態にします。
3	**塩素 7cc** を浴槽へ投入	液は**次亜塩素酸ナトリウム６％溶液**。 （満水の湯量 347ℓに対して、1ppm の塩素濃度になります。ー当社推奨値ー） **シートに直接かからないように注意**
4	水(湯)をよく撹拌	水(湯)を撹拌し、殺菌します。
5	3 分間放置	
6	排水する	
7	スライドシートを上げる	PNS-300 にはありません。
8	浴槽とシートをシャワーで水洗いする	塩素をよく洗い落とします。
9	乾拭きする	
10	室内を換気する	

> ⚠**注意　次亜塩素酸ナトリウムの原液をスライドシートやカバー類に直接かけない**
> かけた場合は、変色、破損の原因になる恐れがあります。

このようなときには

使用中にトラブルが発生した場合は、以下の項目を点検してください。
それでも正常に動作しないときは、ただちに入浴者を安全な場所に退避させた後、使用を中止して最寄りの弊社営業所にご連絡ください。

症　状	原　因	対　策
シートが下降しない	電源が「切」になっている。	電源を「入」にしてください。
	昇降ユニットが定位置にない。	昇降ユニットを定位置までスライドさせてください。
	シートの下に何か挟み込んでいる。（安全装置作動のため）	挟み込んでいるものを取り除いてください。
	扉がロックされていない。	扉を上限まで上げてロックしてください。
	連続押し防止の安全装置が作動している。	1秒以上の間隔を空けて、押してください。
シートが上昇しない	電源が「切」になっている。	電源を「入」にしてください。
	連続押し防止の安全装置が作動している。	1秒以上の間隔を空けて、押してください。
給湯しても湯が貯まらない	排水レバーが「開ける」位置にある。	排水レバーを「閉じる」位置にしてください。
排水されない	排水レバーが「閉じる」位置にある。	排水レバーを「開ける」位置にしてください。
	排水口の目詰まり。	目皿のごみを取り除いてください。
扉がロックしない	扉が上限まで上がっていない。	扉を上限まで上げてください。
扉のロックが解除できない	電源が「切」になっている。	電源を「入」にしてください。
	扉に体重がかっかっている。	扉を持ち上げ、スイッチの開くボタンを押してください。
扉のシールができない	電源が「切」になっている。	電源を「入」にしてください。
	扉が上昇限まで上がっていない。	扉を上昇限まで上げてください。
扉のシールが解除できない	電源が「切」になっている。	電源を「入」にしてください。
	扉に体重がかかっている。	扉に寄り掛るのをやめた後、一度扉を持ち上げ、スイッチの開くボタンを押してください。

※停電中はシートの上昇・下降、扉のロック解除、扉のシール・シール解除ができなくなります。

・その他、ご不明な点につきましても最寄りの営業所にお問い合わせください。

機器の保守・点検について

- 本製品をご使用する際は、機器の管理者の方が下記の点検項目に基づき、必ず始業点検（日常点検）を実施してください。
- 長期間使用しなかった製品の使用を再開する場合は、機器が正常に動作するか十分に点検を行ってください。
- **点検時に異常が発見された場合**は、製品の使用を中止して最寄りの弊社営業所までご連絡ください。
- 清掃等の簡単な保守は機器の管理者等によって実施するようお願いいたします。

● 始業点検項目

区分	点検内容	点検方法
外観	周囲の障害物の有無	目視
	カバー、スライドシートのはずれ、ガタつき、取付ネジの緩み、脱落	目視または、触って確認
	浴槽内の汚れ、または不要物	目視
機能	シート昇降の作動確認 （PNS-310、320）	シートが上昇及び下降することを確認
	扉昇降の作動確認	扉が上昇及び下降することを確認
	扉シール開閉の作動確認	扉シールが閉じ、開くことを確認

● 定期保守点検契約のお勧め

製品を長期間正常な状態で安全にご使用できるように保証期間後の「保守点検契約」の締結をお勧めいたします。詳しくは別添の「保守点検契約のお勧め」をご覧になるか、最寄りの弊社営業所へお問い合わせください。

保証とアフターサービス

✹ 保証書と保証期間

- 保証書（別添）はよく読んで大切に保管してください。保証書がないと保証期間中でも代金を請求させていただく場合があります。
- 保証期間は、正常な使用状態で故障した場合、本体フレーム及び FRP 部品は 5 年間、それ以外は 1 年間です。詳しくは保証書をご覧ください。

✹ 修理を依頼される場合

- 修理を依頼されるときは、下記のことをお知らせください。
  - ・機種名　　：　*PNS-320AC*、*PNS-310AC*、*PNS-300AC*
  - ・お買い上げ：　　年　　月
  - ・故障状況(できるだけ詳細に)
  - ・住所，氏名，電話番号
- メーカーより指示のあるとき以外は、決してカバーを開けたり、機器を分解したりしないでください。

✹ 耐用期間

10 年：保守点検などの当社推奨環境で使用された場合

✹ 損耗品

（使用により、磨耗･劣化･変質等が生じ、本来の機能が発揮できなくなるもの）

・正常な使用において、交換の目安が**約２年**のもの。

扉シール / ワイヤーロープ/座面マット / 安全ベルト /
背当てマット / ストッパーマット

・正常な使用において、交換の目安が**約３年**のもの。

手すりグリップカバー

点検の時期が来ましたら弊社営業所までご用命ください。点検して必要により有償交換いたします。

✹ 保守部品の保有期間

保守用性能部品の保有期間は、販売中止後 10 年です。ただし、性能部品が製造中止などにより入手不可能になった場合は、保有期間が短くなる場合もあります。

仕 様

型　　式		PNS-320AC
外形寸法		1300（L）×812(W)×942(H)㎜
浴槽内寸法		1140(L)×628(W)×590(D)㎜
実使用湯量		約 290 ℓ（水位上限位置） 約 190 ℓ（扉開閉水位）
最大搭乗質量(入浴者)		100 kg
質　　量		約 110 kg
電　　源		単相 100V　50Hz/60Hz　10A
電　　力		130W(50Hz)/130W(60Hz)
座面昇降方式		電動モータ式によるワイヤー巻上げ方式 （DC24V）
扉シール方式		電動モータ式 + ダイヤフラムによるエア式 （DC24V）
材質	フレーム	ステンレススチール
	浴槽・カバー 昇降ユニットカバー	ＦＲＰ製
	扉・スライドシート 支柱カバー	プラスチック（ポリプロピレン）
	座面マット	ポリエチレン
安全機構		挟み込み防止機能（シート下面での挟み込み時、シート下降自動停止） 昇降ユニット位置感知機能（シート上昇限、シート下降限） 扉位置感知機能(扉上限位置のみ、シート下降可)
付 属 品		•リモコン　•リモコンホルダー •バルブ付き給湯カラン •浴槽内手すり　•シート固定ベルト •ストッパーマット　•背当てマット

注．都合により予告なく仕様の変更を行う場合があります。

型　　式		PNS-310AC
外形寸法		1300（L）×812(W)×942(H)㎜
浴槽内寸法		1140(L)×628(W)×590(D)㎜
実使用湯量		約 290 ℓ（水位上限位置） 約 190 ℓ（扉開閉水位）
最大搭乗質量(入浴者)		100 kg
質　　量		約 110 kg
電　　源		単相 100V　50Hz/60Hz　10A
電　　力		130W(50Hz)/130W(60Hz)
座面昇降方式		電動モータ式によるワイヤー巻上げ方式 （DC24V）
扉シール方式		電動モータ式 + ダイヤフラムによるエア式 （DC24V）
材質	フレーム	ステンレススチール
	浴槽・カバー 昇降ユニットカバー	ＦＲＰ
	扉・スライドシート 支柱カバー	プラスチック（ポリプロピレン）
	座面マット	ポリエチレン
安全機構		挟み込み防止機能（シート下面での挟み込み時、シート下降自動停止） 昇降ユニット位置感知機能（シート上昇限、シート下降限） 扉位置感知機能(扉上限位置のみ、シート下降可)
付 属 品		•リモコン　•リモコンホルダー •バルブ付き給湯カラン •浴槽内手すり　•シート固定ベルト •ストッパーマット　•背当てマット

注．都合により予告なく仕様の変更を行う場合があります。

型　　式		PNS-300AC
外形寸法		1300（L）×812(W)×947(H)㎜
浴槽内寸法		1140(L)×628(W)×590(D)㎜
実使用湯量		約 295 ℓ（水位上限位置） 約 190 ℓ（扉開閉水位）
許容体重(入浴者)		100 kg
質　　量		約 70 kg
電　　源		単相 100V　50Hz/60Hz　5A
電　　力		65W(50Hz)/65W(60Hz)
扉シール方式		電動モータ式 + ダイヤフラムによるエア式 (DC24V)
材質	フレーム	ステンレススチール
	浴槽・カバー コントロールユニット カバー	ＦＲＰ
	扉	プラスチック（ポリプロピレン）
付 属 品		•リモコン　•リモコンホルダー •バルブ付き給湯カラン

注．都合により予告なく仕様の変更を行う場合があります。